

MOTOYAMA

広報もとやま

Public Relations Motoyama 2026 vol.281

本山町の情報をお届けします Kochi ebooks

10月号

本山町民祭（P３に関連記事を掲載）

前夜祭

前夜祭

８月７日（金）プラチナセンターにて、前夜祭が開催されました。当日は雨にもかかわらず約120人が来場し、用意された席がほとんど埋まり、会場は賑わっていました。

姫流太鼓の演奏により開幕し、おなじみのカラオケクラブ、民踊クラブ、フラダンスなど８団体が出場し、それぞれが日頃の練習の成果を発揮していました。

MJ★TRYの『テキーラ』演奏の際には、可愛いキッズダンサーが登場し、予想していなかったサプライズに会場からは「可愛い！」の声が飛び交い、カメラのシャッター音がたくさん聞かれました。

また、最後のチェリーオーケストラの演奏の際にもサプライズ！プログラムには書かれていなかった『ふるさと』を参加者全員で合唱し、懐かしの曲に会場は和やかな雰囲気に包まれました。

前夜祭終了後、来場された皆さんが次々と椅子を片付けてくださったおかげで、５分もたたないうちに会場はすっきりと片付いていました。本山町民の優しさを感じられる出来事でした。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。













本山町民祭

本　祭

８月８日（土）前夜祭に続き、町民祭本祭が吉野川ふれあい広場で開催されました。

まず、本山町プラチナセンターで、ストラックアウト大会が開かれました。開始早々は順番待ちになるほどの賑わいで、家族内で得点を競ったり、個々で高得点を狙う方など、大人も子どもも競技に魅了されていました。

メイン会場では姫流太鼓による迫力あるオープニングセレモニーにより民踊大会が開幕し、本山保育所、三区、寺家、民踊クラブ、病院、役場の合計６チームが参加しました。演舞場には、参加６チームに加え、久しぶりに踊る帰省客や、民踊を初めて体験する外国人など多くの飛び入り参加者も集まり、大きな１つの輪ができました。





後半にはチェリーオーケストラによる「北酒場」や「亜麻色の髪の乙女」などの演奏が、一気に会場のムードをつくりました。閉会式の前には商工会による抽選会も実施され、当選者の名前が呼ばれるたびに会場全体が一喜一憂していました。

フィナーレには約500発の色とりどりの花火が打ち上げられ、それまで賑やかだった会場内の人々が一斉に空を見上げ、夏の夜空に咲く花火で今年の町民祭が幕を閉じました。

当日は天候が心配されていましたが、無事にすべての行事を執り行うことができました。住民の皆さまからたくさんご寄付いただき、８月８日（土）時点での寄付金総額は310,400円となりました。この寄付金は運営費用として活用させていただきました。たくさんのご協力、本当にありがとうございました。

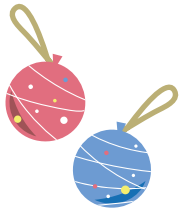












プログラム活動報告

②親子と地域がつながる「多世代交流イベント」を開催しました！（塚尾 雪乃）



８月２日（日）やまぼうしにて、子育て世帯と地域の皆さんが気軽に交流できる「多世代交流イベント」を開催しました。

当日は、大石地区在住の高橋（瀧口）礼子（ゆきこ）さんを講師として招き、親子で楽しめる「シアバターのアロマ＆ハーブクリーム作り」を行いました。５組の親子（保護者５名、子ども10名）が参加し、民生委員や地域の方５名にもボランティアスタッフとしてご協力いただきました。



クリーム作りでは、シアバター※1をみんなでホイップし、各々好きな香りのアロマオイルや美容オイル、本山の野草クリームや野草オイルを混ぜてオリジナルクリームを作りました。子どもたちがボランティアスタッフと遊ぶ姿や、保護者の方がおしゃべりを楽しむ姿も見られ、会場は終始和やかな雰囲気に包まれていました。

※1 *シアバター：アフリカのシアの木の実の種から採る植物油脂。古来、現地では紫外線や乾燥から肌を守る万能薬として使用されてきました。*

今回のイベントは「子育て中の方が地域の人と顔見知りになり、困ったときに気軽に声をかけられる関係をつくれたら」という思いから企画したものです。



参加者からは、「おしゃべりしながらリフレッシュになりました」「子どものことをよく見てくれてありがたかった」といった声が寄せられました。

ボランティアスタッフからも、「初めて参加し、子どもたちと交流できたので、また機会があれば参加したい」との声が聞かれました。

子育ては家族だけで頑張るのではなく、地域の中に「ちょっと話してみよう」「困ったときには声をかけてみよう」と思える人がいることは、大きな安心感につながります。町で会ったときにあいさつを交わす、子どもの成長を一緒に見守る、そういった日々の小さな関わりも、地域で子育てを支える大切な力になります。



今回のイベントが、子育て世帯と地域の皆さんが自然に声をかけ合えるきっかけとなり、安心して子育てできる環境づくりにつながっていけばうれしく思います。

ご参加、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

★ＪＩＣＡグローカル

ＪＩＣＡ海外協力隊の派遣前訓練の一環として、３名のグローカルプログラム実習生が本山町で地域おこし協力隊インターンとして75日間の地域実習に取り組みました。

地域の皆さんとの交流やさまざまな活動への参加を通して本山町について学びながら、それぞれが地域で感じたことや気づいたことをもとに、自ら企画した活動にも挑戦しました。今回は、２人が実施した活動について、それぞれの言葉で紹介します。

①「Cafeこめのみみ」を開催しました（上原 野亜）



さくら市に入店して左側、以前はおいしいおにぎりを提供していたり、お菓子屋さんがあったりした「こめのみみ」というスペースを皆さまもご存じのことと思います。今は活用されていないこのスペースを使って７月30日（木）「Cafeこめのみみ」を開催しました！嶺北高校RYN部※1が作った160個のお菓子（クッキー、ケークサレ）が２時間余りで完売、来場者の皆さまの満足そうな笑顔を見ることができ、ありがたい時間となりました。特にさくら市で販売されている米粉・野菜で作ったケークサレ（野菜の惣菜ケーキ）とRYN部が町内で収穫したお茶を使った緑茶クッキーは大人気でした！　※1 ***RYN部：嶺北の食材を使った新商品開発を活動とする部活動。現在は５人が活動している。***

開催のきっかけは、①嶺北高校生からの「カフェをしてみたいけど、どのようにしたらいいのだろうか？」という想いと、②さくら市の指定管理者である農業公社の「さくら市の売り上げを向上して出品者の収益を上げるために何かできないか？」、③私の「さくら市の未稼働カフェスペースがもったいない。町内外の人が集まれる場所だからこそゆっくりできるようにして情報発信の場にしたい」という3つを掛け合わせた実験的な開催となりました。

来場者にはアンケートを回答していただき「今回のような曜日限定でもよいのでカフェ営業があるとうれしいです！」「18時まで営業を希望、仕事帰りに利用したい」などのお声がありました。これらの回答は農業公社さんと共有し、今後のさくら市の運営に活かされるものであれば幸いです。



関係者の皆さまのご協力があり、開催することができました。これからもさくら市をはじめ、「本山町にあるが利用されていない設備や空間」を利用し「すこし座って、ゆっくりできる場所」が広がっていくことができれば、町内の皆さまの居場所であり、町外の人との交流の場所、情報の拠点になっていくのではないかと上原は思いました。本山町にはたくさんの活用できるモノ、何かしたいヒトがいます！


ケークサレ

さぁこれから、何を始めましょうか？

ひろしま平和学習ツアー
～語り継がれる戦争の記憶～

今年も人権教育の一環として、８月22日（土）広島平和記念資料館などを見学してきました。親子２組を含む16人の方が参加し、あらためて戦争の悲惨さを知ることで、現在の生活がどれだけ平和であるかを学びました。

被爆者体験講話



今年は新たに、実際に戦争を体験された方の講話を聴くことができました。講師には、８歳の時に爆心地から2.2㎞離れた自宅で被爆された山瀬潤子氏を迎え、当時の様子を鮮明に語っていただきました。

当時は生き残ったことに罪悪感を感じてしまう方がいたことや、昨日まで一緒に遊んでいた友人が一瞬にして原爆により犠牲になったこと、食糧不足により一日に家族で米一合も食べられなかったなど、心が痛む話ばかりでした。ですが、小学生が熱心にメモを取り、講師の質問にもハキハキと答える姿や、参加者から「親子で参加し、子どもといっしょに平和について考えるとても貴重な機会となった」「現在の平和が当たり前でないことを学んだ」などの感想があり、とても有意義な学習となりました。



講話の最後には「戦争をなくすために自分たちができることは、まずは学び、そして伝え続けていくこと」との講師からの言葉を胸に刻みました。

また、昨年に続き、夏休みに子ども教室の児童が作った折り鶴を『原爆の子の像』へ奉納しました。折り鶴を捧げる際には、参加者一同で世界の平和を願いました。





●問い合わせ先　○教育委員会　☎ 76−2084

PEN RELAY No.44

「ありがとう」の言葉が私のやりがいに

大久保（おおくぼ）千尋（ちひろ）さん



ちょうど3年前の10月号にも、父がこのページに登場し、米づくりや原木しいたけの栽培について語っていました。今年8月号に登場した川村さんも、3年越しに夫婦での掲載となり、家族リレーが続いているようでうれしいです。

私は本山町出身で、嶺北高校を卒業後、社会福祉士を目指して岡山県の大学で勉強してきました。

卒業後は岡山の障害者施設で6年ほど支援員として働き、やっぱり地元で働きたいと思い、本山に帰ってきました。

現在は、本山町社会福祉協議会のいきいきふれあいセンターで、高齢の方との関わりや身体障害者連盟などの団体事務にも携わっています。また、高齢者の見守り・安否確認を目的として、配食のサービスも行っており、今年で2年目になります。配達したとき、利用者の方から「ありがとう」と言っていただいた時は、とてもやりがいを感じます。

休日は、大学時代の友達とご飯に行ったり出かけたりすることが、私にとって息抜きになっています。また、おいのサッカーの試合を見に行ったり、涼しい季節にはキャンプを楽しんでいます。

昨年からは、龍馬マラソンに出場するため練習を始め、今年初チャレンジでしたが、なんとか完走することができました！来年も出場するかは悩み中です（笑）。



朝から船を出してイカ釣りに



大好きなおいっこと



大学時代の友達と



趣味のキャンプで格闘中

趣味は？
釣り、お菓子づくり

次号は、大久保さんからご紹介いただいた大野（おおの）さとみさんです。

地域おこし協力隊通信



【今月の担当】
アウトドア事業
推進活動員
山本（やまもと）　彩世（さよ）

本山の夏、〝あつい〟ですね！記事を書いている今は、夏真っただ中です。

先日は涼を求め、サップを抱えて汗見川へ。早朝は貸切状態で、水面に反射する山の景色がなんとも美しく、それはそれはゆったりとぜいたくな時間を過ごすことができました。生活にとても近い川なのに、どうしてあんなにもきれいなのか…行く度に感動してしまいます。が、後半は虫との闘い。アブとブヨの餌食になりかけていました。熱と二酸化炭素に集まってくるという情報を聞き、気休めですが若干息を止めながらサップをこいでみましたが変わらず（笑）生き物とも一緒に楽しく遊べたらいいんですけどね！



あ！ダンゴムシ！



水鏡

〝あつい〟と言えば、本山町民祭！こちらも熱かったですね。初めてのお祭り、地区のチームで盆踊りに参加させていただきました。練習もあたたかく迎え入れてくださり、アットホームなこの町の雰囲気が改めて好きだなあ、と。目の前で上がる花火もプライベート感があり、心地よい夏のひとときとなりました。

さて、最近の活動としては、『れいほく登山学校』と『ネイチャーゲームとクラフト』のイベントがありました。五感を使って自然を楽しむこのイベント。この日は夕方から帰全山公園で開催しました。家族連れだけでなく、大人だけでの参加、県外からお越しいただいた方もおり、賑やかにパズルゲームやキーホルダー作り、自然遊びをしました。最初は緊張気味だった子どもたちも、気づけば会話が生まれ、一緒に虫を探しては手のひらに乗せて観察したり、お互いに知っている知識を教え合ったり。参加者同士の輪がいつの間にかできていました。「本山町を知れて良かったです！」「また来たいです」といった声をいただけた、あたたかな時間になりました。

協力隊ホームページ https://mtymc.wordpress.com/

「宝くじ助成金」で備品を整備しました！

財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源とした「コミュニティ助成事業」により地域のコミュニティ活動に対して助成を行っています。

この事業を活用して、テーブルやイスなどを整備しました。これらの備品は、地域のコミュニティ活動などで今後活用していきます。



【事業実施地区】大石

●問い合わせ先　○政策企画課　☎76−3915

防災コーナー

車の燃料が半分になる前に満タン給油しましょう！

南海トラフ地震が発生すると、土砂崩れなどの災害による道路の通行止めや地震によるガソリンスタンドの被災が予想され、車に燃料を給油することが困難となります。また、災害時には緊急車両等へ優先的に燃料を給油しますので、一般車両への給油が制限されます。中山間地域では車両は重要な生活手段です。日頃から、車の燃料の残量が半分以下になる前に車の燃料を満タンに給油をすることで燃料の確保に努め、災害に備えましょう。また、より長期的な災害発生も想定して、携行缶の準備等予備燃料の確保に努め、災害対策を強化していきましょう！



引用：【本山町地域防災計画　第2編　第２章　地震災害予防計画　第18節　住民等の自主防災力の向上】

●問い合わせ先　○総務課 防災対策班　☎ 76−2223

令和９年はたちの集いのご案内

令和４年４月１日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、本町では、対象者を20歳（平成18年４月２日から平成19年４月１日までに生まれた方々）として開催します。

なお、令和３年度の本山町立嶺北中学校卒業者のうち、進学や就職などで現在町外に在住の方で、本町の式典に出席をご希望される方は、11月27日（金）までに住所・氏名・生年月日・連絡先（電話番号）をご連絡ください。



【日　時】　令和９年１月３日（日）
【受　付】　10時～12時終了
【会　場】　本山町プラチナセンター（〒781−3601　本山町本山569−1）

●問い合わせ先　○本山町教育委員会　社会教育班　☎ 76−2084

令和7年4月より さくらバス利用　運転免許返納者1年間全額減免開始

本山町食生活改善推進協議会の活動報告

７月31日（金）本山町保健福祉センターで、ヘルスメイトを対象に、中央東福祉保健所の栄養士の方による「ナト・カリ」（食塩の主成分であるナトリウムと野菜や果物に多く含まれるカリウム「比」２つのバランス）についての研修を行いました。

また、調理実習では乳和食（「コク」と「うまみ」を持つ味噌やしょうゆに牛乳を組み合わせることで塩を控え、薄味にすることなくおいしくいただけるための調理法）を用いた料理を作りました。

今回は調理実習で作った「豚しゃぶヨーグルト味噌ソースがけ」を紹介します。ぜひご家庭で作ってみてください。

《豚しゃぶヨーグルト味噌ソースがけ》１人分



★材料★

■豚もも肉（しゃぶしゃぶ用）60ｇ
■ミニトマト……２個
■レタス……30ｇ
■長ネギ……15ｇ
■さけるチーズ……15ｇ

ヨーグルトソース



Ⓐ
- プレーンヨーグルト……25ｇ
- 味噌……小さじ½
- 砂糖……小さじ¼
- ゆずこしょう……少々

★作り方★

① 豚肉は、お湯にくぐらせ火を通し、水に取り水けをきる。
② ミニトマトは洗って半分に切る。レタスはひと口大にちぎり水にさらし、長ねぎは５㎝の長さで細切りにする。さけるチーズはさいておく。
③ Ⓐの材料をボウルに入れ、よく混ぜてソースを作る。
④ 器に②の野菜、豚肉、長ねぎ、さけるチーズを盛りつけ③のソースをかける。

◎毎月19日は、「食育の日、家族そろっていただきますの日」と設定し、できる限り地域の食材を使い、家族で食事の準備をし、家族そろってゆっくり食事をいただき、食育について考え、実施する日としています。

《本山町食生活改善推進協議会》

本山町健康づくり婦人会による「禁煙啓発キャンペーン」を実施!!





８月７日（金）本山町内で禁煙啓発キャンペーンを実施しました。

この活動は、受動喫煙のない社会を目指し、たばこによる健康被害や禁煙の必要性を知ってもらうことを目的に、毎年実施しています。主な活動としては、商店街及び事業所等への禁煙の啓発用チラシの配布です。この活動は平成27年から取り組んでおり、今後も健康で活力のある地域づくりに向けて継続していきたいと考えています。

大原富枝文学館だより

問い合わせ先
大原富枝文学館 ☎76−2837

令和8年度 第76回 高知県芸術祭協賛行事　8/2〜11/29

企画展「作家から作家へ、魂の軌跡」
―大庭みな子宛書簡―

よさこい高知
文化祭2026

大原富枝と大庭みな子氏は、昭和52年から大原死去の前年（平成11）年までの22年間に、みな子宛書簡42点と富枝宛書簡９点を交わしています。内容は文学に関するもの、欧州旅行や軽井沢の山荘での近況、二人が大好きな植物に関するもの、大庭夫妻への病気見舞いなどさまざまです。そのなかから今月号では、みな子氏が文学館を訪問した折の二人の往復書簡をご紹介します。

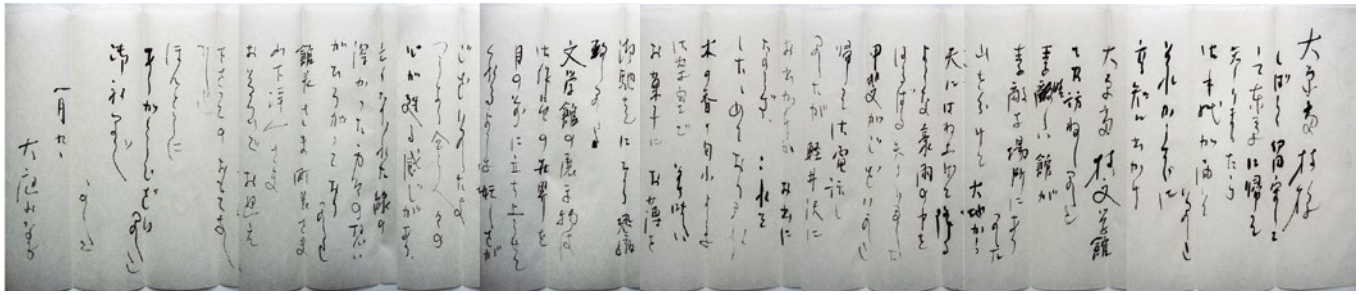


安履庵にて薄茶を一服

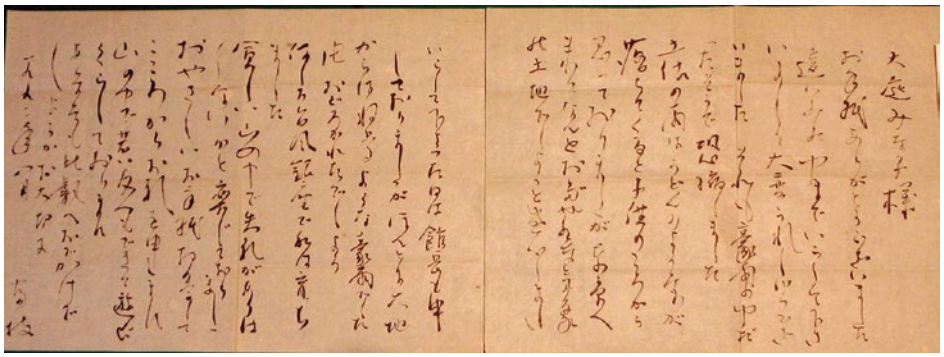


平成４年８月５日に高知市夏季大学で「文学とは」と題して講演、翌６日に来館し展示を鑑賞





文学館訪問時の歓待に対する礼状。「山を分けて大地から天にはね上げて降るような豪雨の中をはるばる参りました甲斐がございました」「文学館の展示物は御作品の世界を目の前に立ち上らせてくれるような妖しさがございましたよ」と綴られている。
（平成４年８月９日付大庭みな子書簡）



（8月17日消印　大原富枝の返信）
豪雨のなか来館したみな子氏に謝意を述べ、「土佐の雨はうどんのようなのが落ちてくる」と伝えている。

土佐特有の夏の雨が二人の作家によって的確に描写されているのも見どころの一つです。展示をお楽しみください。

MOTOYAMA
学校・隣だより
Vol.219

吉野小学校と本山小学校の5年生が、7月2日（木）と3日（金）に香北青少年の家で、集団宿泊学習を行ってきました。

あこがれの6年生になるための合宿

本山小学校　上村　織

わたしは、7月2～3日に初めての合宿に行きました。準備をしている時から忘れ物をしていないか、しっかりと班長として周りのことを考えて行動できるかいろいろ不安でしたが、学校へ着き、みんなと話しているとバスが来て、出発の時間になりました。すると、あこがれている6年生たちが窓から手を振ってくれて、不安がへりました。

目的地に到着し、カレー作りに入ると、スムーズに進み、早めに火をつけるところまでいけました。他の人を少し待たせてしまいましたが、一人のためにみんなが協力すると団結力も高まるということが学べました。

無事カレーが完成し、仲良く食べ終わると、みんなで洗い物や片付けをすませました。

夜になると、みんなお待ちかねのスタンツの時間がやってきました。他のチームのスタンツも面白かったけど、自分たちのダンスも負けないぐらい自信がありました。みんなが登場すると、女の子たちは笑い転げていました。

部屋にもどって、みんなで協力し合ってしいたシーツの上でねる時間になりました。目をつぶっていると、疲れていたのかすぐに眠りにつきました。



帰り着くと学校のみんなは休み時間に入っていたので、合宿経験者の6年生といろんなことを話せてうれしかったです。



今回の合宿で、あこがれの6年生に少し近づけているとうれしいです。来年、今の6年生みたいに何をする時も恥ずかしがらず、元気な人になれるよう努力しようと思いました。

★・・・10月の予定・・・★

★本山保育所★

10/ 1(木)　歯科検診
10/ 7(水)　不審者訓練
10/19(月)　避難訓練(地震・火事)
10/24(土)　運動会
10/29(木)　起震車体験



★子育て支援センター★

10/ 2(金)　絵本に親しもう
10/ 9(金)　まぱじば教室
10/20(火)　作ってあそぼう

★嶺北高校★

10/ 3(土)　3年生模擬試験(記述)
10/ 5(月)～9(金)　中間試験
10/ 7(水)　代休(10/10)
10/10(土)　授業参観日・ＰＴＡ愛校作業
10/17(土)　中高合同体育祭(予備日10/18)
10/20(火)～23(金)　2年生修学旅行
10/20(火)　交通安全街頭指導
10/23(金)　ホームデー(1・3年生)
10/24(土)・25(日)　3年生模擬試験
10/26(月)　代休(10/17)
10/31(土)　1・2年生模擬試験

★嶺北中★

9/29(火)～10/2(金)　2年生修学旅行
10/ 2(金)　第2回英語検定(1次)
10/10(土)　中高合同参観日
(愛校作業・キャリア教育講演会)
10/10(土)・11(日)
高知県バレーボール新人大会
10/13(火)　代休(10/10)
10/16(金)　中間テスト発表
10/17(土)　中高合同体育祭(予備日10/18)
10/19(月)　代休(10/17)
10/22(木)　第3回ＰＴＡ常任委員会
10/26(月)・27(火)　中間テスト
10/29(木)　2年生木工教室(清流館)
起震車体験



10/30(金)　第4回3年生実力テスト・3年生進路説明会
10/31(土)・11/1(日)
香長地区バレーボール大会

★吉野小★

10/ 3(土)　道徳参観日・全校ＰＴＣ行事
10/ 5(月)　代休(10/3)
10/14(水)～16(金)　6年生修学旅行
10/28(水)　避難訓練
(地震・火災)



★本山小★

10/ 3(土)　人権参観日(人権コンサート)
10/ 5(月)　代休
10/14(水)～16(金)　修学旅行
10/27(火)　町指定公開授業
10/28(水)　発表集会(4年生)
10/29(木)　起震車体験(2・4・6年生)

発行：本山町　編集：広報編集委員会

〒781-3692 高知県長岡郡本山町本山636
(0887)76-2113　FAX(0887)76-3593
URL https://www.town.motoyama.kochi.jp

印刷：株式会社高知新聞総合印刷